

- ・愛知県南部の(渥美)半島は、豊川用水が整備されてから農業がさかんになり、温暖な気候を利用し、ビニールハウスなどの施設を用いて出荷目的で野菜や花をつくる(施設園芸)農業が行われている。
- ・静岡県牧原や磐田原の台地は、日本でも有数の(茶)の栽培地域である。
- ・長野県の野辺山原では高原野菜の(レタス)の栽培がさかんである。
- ・甲府盆地や長野盆地には、水はけのよい(扇状)地が多く、稲作に不向きだったので、かつては蚕を飼ってまゆを生産する(養蚕)がさかんであったが、現在は果樹栽培がさかんである。
- ・雪が多い北陸では、年1回米だけを栽培する(単)作が行われている。高値で買戻される金名木内米も品種改良でつくられている。
- ・農家の冬の副業から(地場)産物が発達しており、輪島塗や小千谷ちがみなどの(伝統的工芸)品の生産もさかんである。

問 右の資料は、北陸の各県と全国の農業産出額およびそれに及ぶ米の産出額を比較したものである。

北陸の各県で稲作を中心とした農業が行われていると判断できる理由を、

資料から読み取って書きなさい。

項目	新潟県	富山県	石川県	福井県	全国
農業産出額(億円)	2671	643	518	426	84668
米の産出額(億円)	1499	446	284	279	17807

2013年

(2016年「県勢」)

(北陸の各県は、全国と比べて農業産出額にしめる米の産出額の割合が高いから。)